

第3期終了しました。

EPO 第3期 —知的（発達）障害のある人の支援と関係性を考える—

“支援者エンパワメント塾”

11月、12月、1月の土曜日に開講！参加お申し込み下さい！

寺子屋風に入れ替えなしで3回通して、よくよく分かりたい塾へ。

□期日 ①11月17日 ②12月15日 ③1月12日・午後6時（開場 15分前）

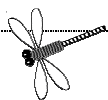
□定員 130名（定員になり次第締切り）

□会場 新大阪丸ビル新館（JR新大阪駅・東出口から徒歩5分。）

□受講対象 知的（発達）障害者の支援にかかわる方、並びに本テーマに関心のある方（福祉・教育・保育・相談・行政・司法・医療・大学の各機関・現場等）

□受講料 6,000円（資料代込み）

□申込先： Fax 06-6320-6068 ・Eメール npoepo@nifty.com

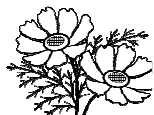


＜知的（発達）障がい者が「地域で生きる支援」とは。＞
プログラム（予定）

■第1回 11/17（土）pm6～

* 「八尾事件その後、Yさんが地域に帰るといこと」

— “再犯防止” が合言葉の社会に向きあって、「この人たちをどうこうしたい」と思うことが支援なら、支援者失格の私たち。 なにかあった時は？— 支援を民事告訴されたとき、問われるべきは何か。



畑 健次郎（ゆうとおん・理事長）

■第2回 12/15（土）pm6～

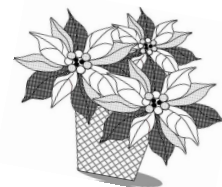
* 「地域移行について語る」

— 障害者主体をめざし、地域で共に生きる通所の法人として、収容施設から受け入れた障害者たち、その取り組みを通して。— 地域移行の支援とは？

林 淑美（クリエイティブハウス「パンジー」・理事長）

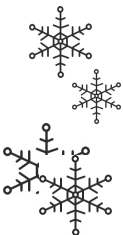
* 対談「地域で生きるために」

畑 健次郎 & 林 淑美



■第3回 1/12（土）pm6～

* 「社会を視野に入れた支援を考える—知的（発達）障がい者の事件を通して」
高岡 健（岐阜大学大学院医学系研究科准教授・精神科医）



* トークの場： 「これまでの提起から—支援と関係性を考える（仮題）」
高岡 健さんを囲んで。

参加者 & 登壇者（第1、2回）

障害者と支援者をつなぐNPO 法人エンパワメント・プランニング協会（EPO）主催
（裏面に申込書・会場地図掲載）